

# 2016年12月期 通期決算説明会

---

アプリックス I Pホールディングス株式会社  
2017年2月15日



# 16年12月期通期 決算実績

---

取締役 CFO 長橋 賢吾

# 16年12月期通期 累計P/L



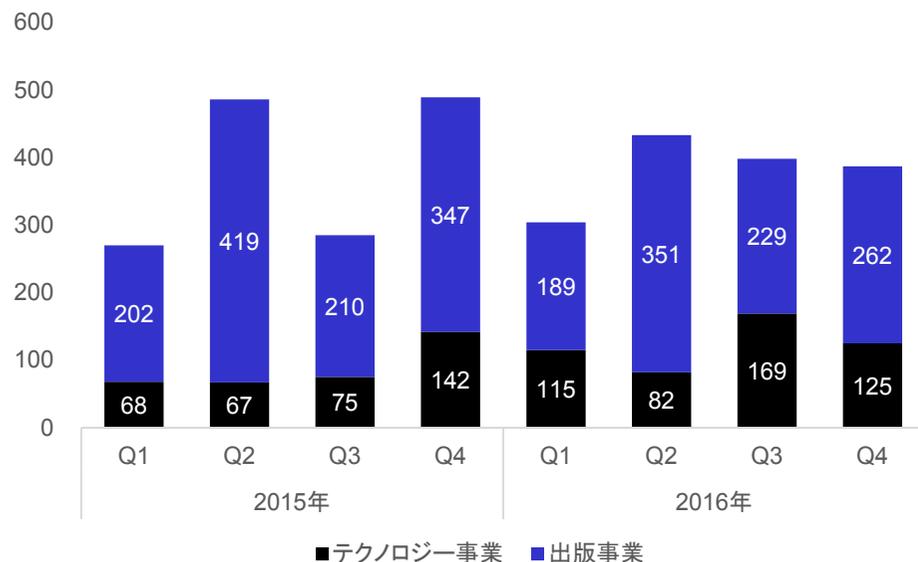
(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
15年12月期 累計実績(A)	1,532	△2,406	△2,391	△2,903
16年12月期 累計実績(B)	1,526	△929	△929	△985
増減額 (B-A)	△6	+1,477	+1,462	+1,918
増減率 (%)	△0.4%	-	-	-

✓ コスト削減効果で営業利益は1,477百万円改善

# 16年12月期第4四半期 売上高セグメント別推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2015年	2016年	増減率
	Q4	Q4	
テクノロジー事業	142	125	△11.9%
出版事業	347	262	△24.4%
(売上高合計)	490	388	△20.8%

## テクノロジー事業：

大型開発案件納品があった前4Qと比べてほぼ同水準の売上高を維持

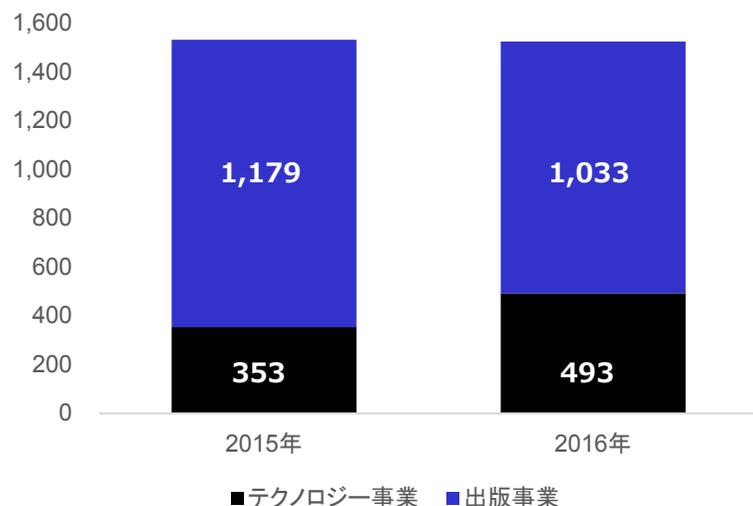
## 出版事業：

売上高は減少したものの、「理系が恋に落ちたので証明してみた。」等新規作品の売れ行きが好調

# 16年12月期通期 売上高セグメント推移



単位：百万円



( 単位：百万円 )	2015年	2016年	増減率
	通期	通期	
テクノロジー事業	353	493	+39.4%
出版事業	1,179	1,033	△12.4%
( 売上高合計 )	1,532	1,526	△0.4%

## テクノロジー事業：

当社IoTモジュールを搭載した製品の販売開始（ex.浄水器システム、ペットケアシステム、空気清浄機）  
アプリケーション開発、クラウドサービス等のIoTソリューションを提供

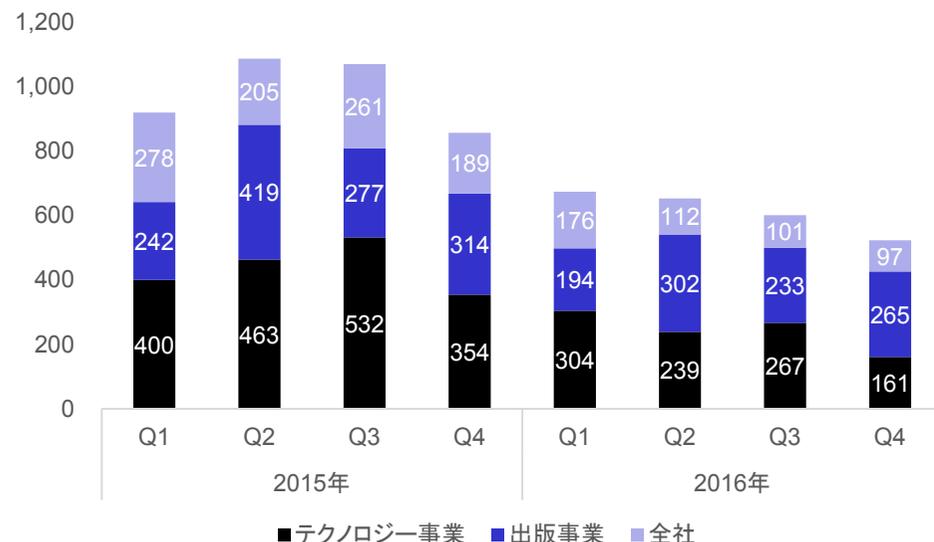
## 出版事業：

コミック：新刊43点、増刷43回実施。男性向け「お前ら全員めんどくさい！」等の売れ行きが好調  
女性向け「同居人はひざ、時々、頭のうえ。」第2巻刊行、累計出荷30万部突破  
絵本・児童書：新刊57点、増刷137回実施。「Wonder ワンダー」が累計出荷20万部突破

# 16年12月期第4四半期 営業費用セグメント推移



単位：百万円



( 単位：百万円 )	2015年	2016年	増減率
	Q4	Q4	
テクノロジー事業	354	161	▲54.5%
出版事業	314	265	▲15.6%
全社費用	189	97	▲48.7%
( 営業費用合計 )	858	524	▲38.9%

テクノロジー事業：

固定費削減等によるコスト減少 前年同期比▲54.5%

出版事業：

売上減少に伴うコスト減少 前年同期比▲15.6%

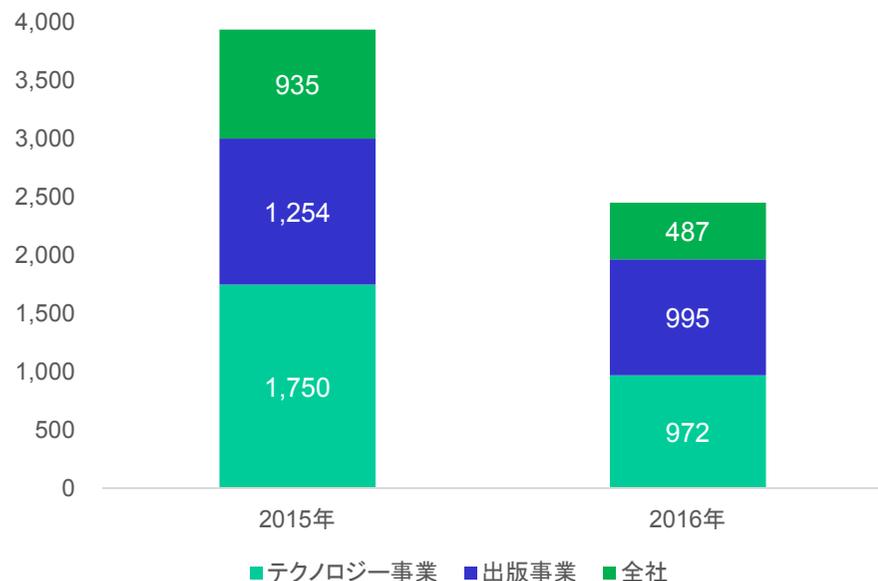
全社費用：

固定費削減等によるコスト減少 前年同期比▲48.7%

# 16年12月期通期 営業費用セグメント推移



単位：百万円



( 単位：百万円 )	2015年 通期	2016年 通期	増減率
テクノロジー事業	1,750	972	▲44.4%
出版事業	1,254	995	▲20.6%
全社費用	935	487	▲47.9%
( 営業費用合計 )	3,939	2,455	▲37.6%

## テクノロジー事業：

前期はたな卸資産評価損等を計上、その他全体的にコスト削減を実施 前年度比▲44.4%

## 出版事業：

ほるぷ出版ののれん償却が前期で終了、売上減少にともなうコスト減 前年度比▲20.6%

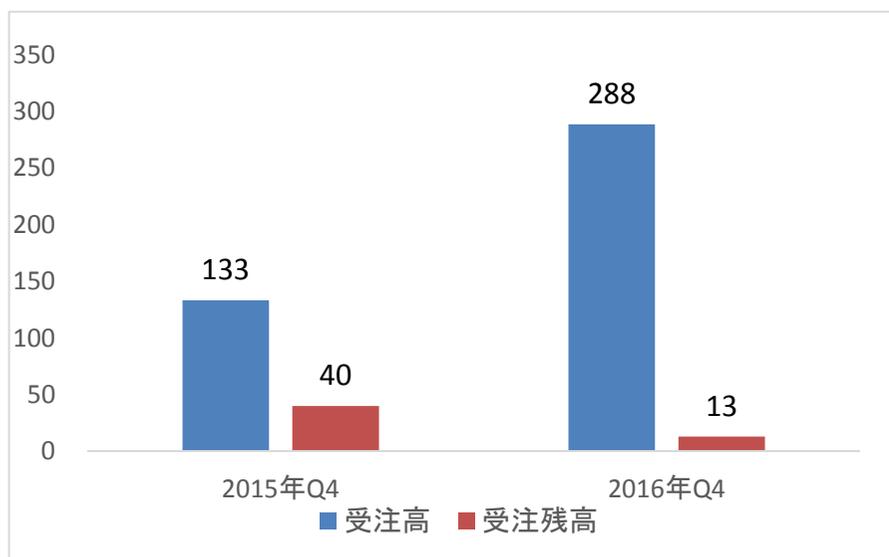
## 全社費用：

固定費削減によるコスト減少 前年同期比▲47.9%

# 16年12月期通期 受注高・受注残高



単位：百万円



(単位： 百万円)	2015年	2016年	増減率
	通期	通期	
受注高	133	288	+116.6%
受注残高	40	13	▲67.2%

受注高・受注残高：

IoT開発案件の受注増加により受注高が増加。

Q3、Q4に売上計上した案件が多かったことから前期と比べて受注残高は減少。

# 16年12月期 営業損益ブレイクダウン



単位：百万円

2015営業損益



2016営業損益



当社グループの非中核事業である出版事業の切り離しが実現した場合は当社の業績数値が変動することから、一時的に開示を見合わせております。

業績予想が可能となり次第、速やかに発表する予定です。

# 今期の取り組み

## IoTソリューション事業

$$\text{売上} = \text{地域} \times \text{カテゴリ}$$

[	日本	[	ビーコン
	米国		サービス
			レベニューシェア



## ビーコン

ロケーションビーコンはMyBeacon®として国内ネット販売  
16年12月に価格改定(1個あたり1200円→2500円)  
ビーコン販売でも利益を出せる体制に  
お知らせビーコンは、家電機器への組み込み中心

## サービス

国内メーカー等とのタイアップでアプリ・クラウドを提供

**食品系:** ユーザの嗜好把握のため今後コーヒーメーカー等  
機器とスマホとの連携が拡大の見込。

ビーコン+サービスでスマホ連携の需要を取り込む

**テレマティクス:** 自動車保険におけるユーザの乗車履歴等  
をスマホアプリを通じて把握する需要が拡大、  
これまでの実績をもとに保険会社とのタイアップを目指す

# 欧米での取り組み



海外子会社Aplix Corporation of America（米国カリフォルニア州）が中心となり  
米国・欧州向けにIoTソリューションを提供

## ビーコン



お知らせビーコンが主流で、アプリ・クラウドとセット  
日本にくらべて、製品導入までの意思決定スピードが速い  
すでに商用製品も出荷しており、顧客数を拡大

## サービス

**浄水器**: Aquasanaなど採用実績があり、既存顧客からのリピート  
オーダーに加えて、新規顧客へのソリューション展開  
ECサイトでフィルターを購入するたびに、当社に収益分配  
するレベニューシェアの売上拡大も見込む

**ペット・空気清浄機**: Our Pet's, Guardian社など既存顧客からの  
リピートオーダーにくわえて、新規顧客展開を実施  
米国Amazon.comのAlexa Skill対応も実施

## 選択と集中

出版事業（コミック、児童書）については、共同株式移転により  
中間持株会社を設立し、出版事業の切り離しを進める

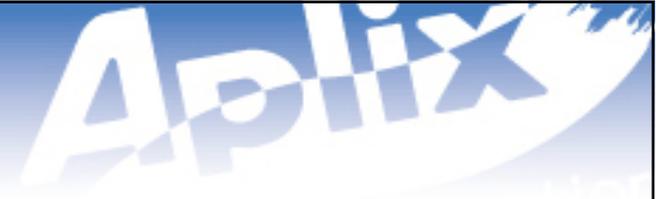
※16年9月23日リリース「子会社3社の共同株式移転による中間持株会社設立の  
お知らせ」参照

IP戦略部門、半導体開発部門は廃止、海外拠点も米国以外すべて  
撤退し、IoTソリューションにリソースを集中

## コスト削減

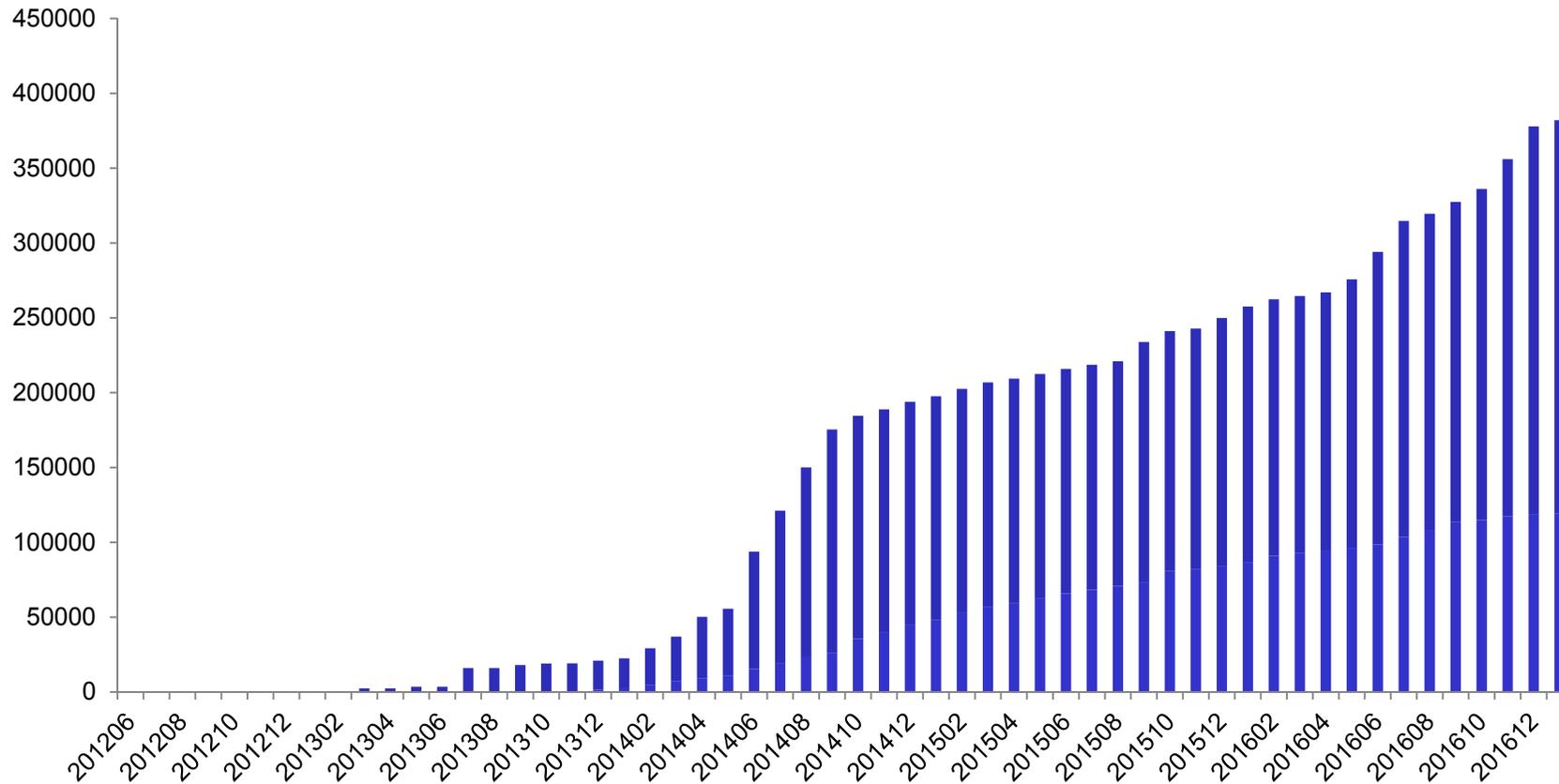
オフィス賃料、業務委託費等、あらゆるコストについて見直しを実施、  
不要不急のコストを抜本的に削減

# BLEモジュール出荷台数



17年1月に、BLEモジュール累計出荷台数38万台を突破

(単位：台)



出所：会社資料

BLEモジュール、JMシリーズ、MyBeaconシリーズ、その他を合計

# 主要トピックス1



2016年11月21日発表

## 「MyBeacon シリーズ」の価格改定

当社BLEモジュール製品である「MyBeaconシリーズ」について、平成28年12月1日より価格改定を行うことを発表いたしました。

「MyBeaconシリーズ」については、当社IoTソリューションの普及を目的としてまずは安価で提供し、その後IoTソリューションの利用に繋げることで収益を上げるビジネスモデルを展開しBLEモジュールの普及に貢献してきましたが、現状として「MyBeaconシリーズ」の単独購入のみを希望されるユーザーが増加してきており、BLEモジュールを活用する市場が立ち上がり市場創成の役割を果たしたことから、BLEモジュールの販売による更なる当社グループの収益性向上を図るべく提供価格の見直しを行うことといたしました。また同時に、BLEモジュール製品の材料調達先や製造加工委託先の見直し等を行うことで、安定的な供給が可能となる生産体制や品質管理体制等の再構築を行うことといたしました。

### <価格改定内容>

対象製品 MyBeacon 汎用型「MB004 Ac-DR1」

現行価格(10台同梱) 12,000円 → 25,000円

# 主要トピックス2



2017年1月11日発表

## 当社IoTソリューションが採用されたブラザーエンタープライズ社製 IoT LED ライト 「MAmoria it (マモリアアイティー)」の先行発売

当社のIoTソリューションを採用したスマートフォン対応IoT LEDライト「MAmoria it(マモリアアイティー)」が、株式会社ブラザーエンタープライズから発売されることを発表いたしました。

「MAmoria it」は「au 発表会 2017 Spring」でauの公式アクセサリ「au+1collection SELECT」商品として紹介されるほか、auショップ及びauOnline Shopで2017年2月から購入可能となります。追って家電量販店でも販売される予定です。



まいにちをMAmoria itと過ごそう



## 主要トピックス3



2017年2月7日発表

### 米国 Guardian社製空気清浄機操作のための Alexa Skill を提供開始

当社IoTソリューション採用の空気清浄機を、「Alexa」を使って音声で操作するための Alexaスキルを開発し、Amazon.comの「Alexa Skills Store」で提供開始したことを発表いたしました。

今回当社が開発した「Guardian Technologies」は、Guardian Technologies LLCが販売している「CDAP4500BCA」の操作を、Alexaデバイスからできるようにする Alexaスキルです。

「CDAP4500BCA」に採用された当社 IoT ソリューションは、当初から「Alexa」対応を想定して開発されており、今回は「CDAP4500BCA」のハードウェアはもちろんファームウェアのバージョンアップなども一切行わずに、Alexaスキルの開発だけで「Alexa」との連携を実現しました。

# 補足資料 - Appendix

---

# 会社概要



## ◆ 会社名

アプリアックス I Pホールディングス株式会社  
[英文表記：Aplix IP Holdings Corporation]

## ◆ 本社所在地

〒160-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## ◆ 設立年月日

1986年2月22日

## ◆ 資本金

13,882百万円 [2016年12月末現在]

## ◆ 売上高

1,526百万円 (連結) [2016年12月期]

## ◆ 従業員数

132名 (連結) [2015年12月末現在]

## ◆ 役員

代表取締役 兼 取締役社長	郡山 龍
取締役	長橋 賢吾
取締役	石黒 邦宏
社外取締役	平松 庚三
常勤監査役	根本 忍
社外監査役	新田 喜男
社外監査役	山田 奨

## ◆ 事業内容

テクノロジー事業  
出版事業

## ◆ グループ会社

株式会社アプリアックス  
Aplix Corporation of America  
アプリアックスIPパブリッシング株式会社  
フレックスコミックス株式会社  
株式会社ほるぷ出版  
アプリアックス出版ホールディングス株式会社 他

## **郡山 龍（代表取締役CEO）**

早稲田大学理工学部在学中にマイクロソフト社入社。1986年ソフトウェアの開発を目的として、株式会社アプリクス設立。CD-ROM書き込み装置、CD-I、DVI関連システムなどを開発する。1997年に発表した家電等の組み込み向けのJavaプラットフォーム「JBlend」は、世界中の家電、携帯電話に組み込まれ、世界シェア3割まで拡大、2003年、アプリクスを東京証券取引所マザーズ株式上場に導く。現在は、「IoTを実現する技術」で新しいビジネスモデルを開拓。

## **石黒 邦宏（取締役CTO）**

北海道大学農学部を卒業後、株式会社SRA、ネットワーク情報サービス株式会社を経て、株式会社デジタル・マジック・ラボでUNIXソフトウェアの開発、インターネット経路制御の運用に関わり、オープンソースウェアで経路制御を実現するGNU「Zebra」を開発。そして、「Zebra」をベースにした商用ソフトウェアである「ZebOS」を開発・販売するために、1999年10月、米国にてIP Infusionを創業。「ZebOS」は、世界中のルーターやスイッチメーカーに採用。株式会社ACCESS取締役CTOを経て、2015年4月に当社CTO、2016年3月より当社取締役に就任。

## **長橋 賢吾（取締役CFO）**

慶應義塾大学環境情報学部卒業。同大学院政策・メディア研究科修了、2005年東京大学大学院情報理工学研究科修了。博士（情報理工学）。英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所訪問研究員を経て、2006年日興シティグループ証券（現、シティグループ証券）にてITサービス・ソフトウェア担当の証券アナリストとして従事後、2009年3月フューチャーブリッジパートナーズ株式会社設立。2015年3月より当社取締役・CFO・チーフエコノミスト。

# 創業から上場までの製品

1986年：創業

2003年：上場

NeXT Computer System用の  
アプリケーションソフトを発売した  
最初の日本企業



## CD-ROM オーサリングツール



**WinCDR 6.0**  
Premium Package



DOS/V POWER REPORT Magazine  
RECOMMENDED Product (GOLD  
Prize)(Feb, 2001)

**Logitec**  
CD-R/RW Drive for  
Macintosh & Windows  
LCW-R6406U



DOS/V magazine 2000/8/15  
Technical Test Labs  
Tester's Choice & Observer's  
Choice



**Panasonic**  
CD-R/RW Drive for USB Interface  
LK-RW7585UZ



**IBM**  
Aptiva Series



**SONY**  
Portable CD-R/RW Drive  
CRX76A / CRX76U

## カーナビゲーションシステム

**TOYOTA**

**SONY**

**MITSUBISHI**

**Panasonic**



**Pioneer**

**ALPINE**

**DENSO** **FUJITSU TEN**

**KENWOOD**



## コンシューマ製品向けJava



Sanjyo Electric  
Digital Photo Album  
DMA-100



Sanjyo Electric BB/CS Digital TV



Sony  
digital video camera  
MD DIBCAM  
DDMH1



Sony Digital photo printer  
DPP-EV58



Pioneer Digital STB for CATV  
BD-V500

Powered by



Sanjyo  
Electric POS Terminal  
MBO-J100



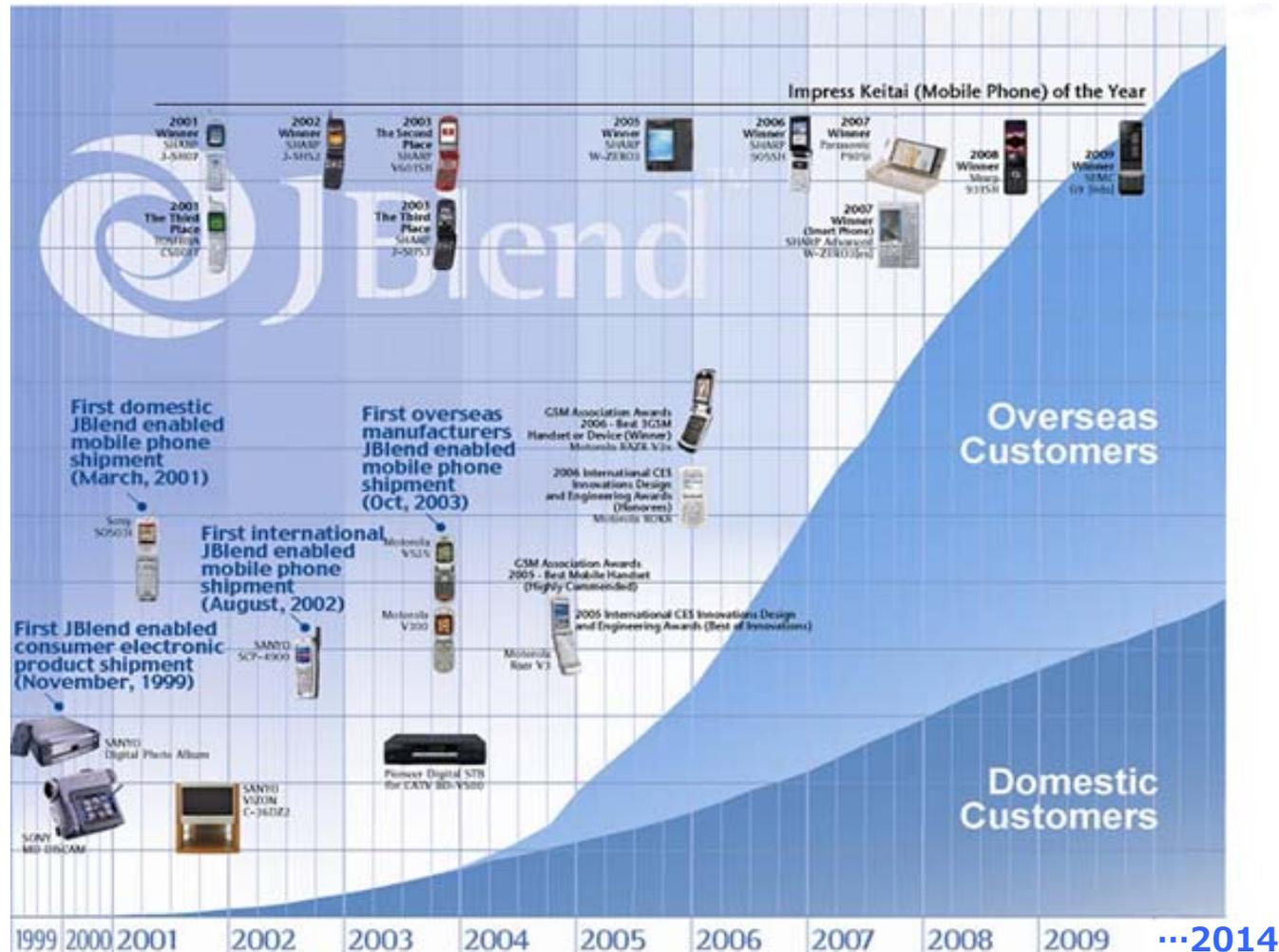
RFU  
Java based palm  
size computer  
BossaNova



Nissan/Sanjyo  
Car  
navigation  
system  
H8700A

# JBlend : 8億台以上の出荷実績

全世界で8億台（2014年末時点）を超える携帯電話にアプリックスの技術が搭載・出荷されています。  
 JBlendは、アプリックスが株式上場する直接的な原動力となった技術です。

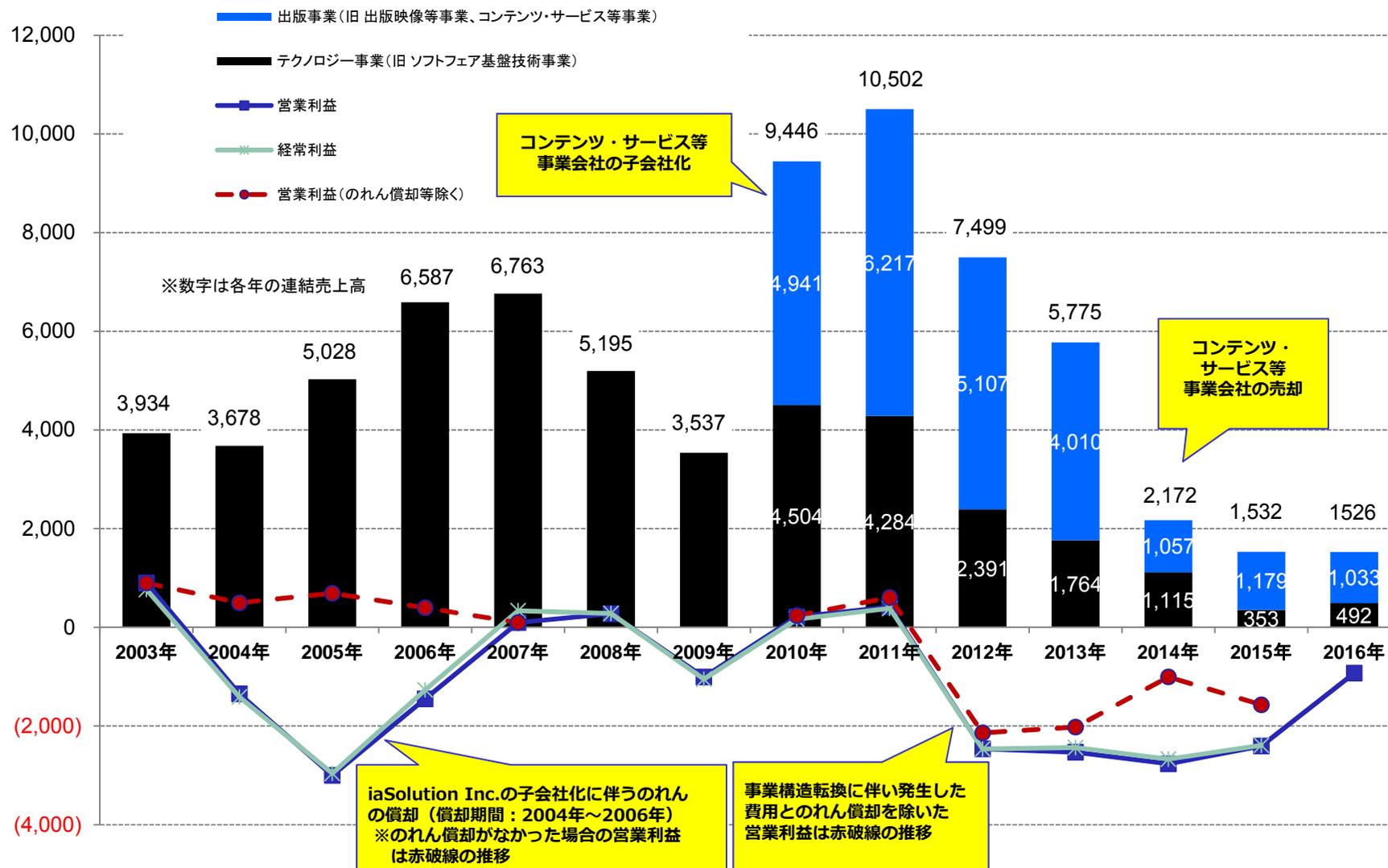


# IoTスタートアップ



旧来事業の整理を完了して、IoTスタートアップ企業として再スタート

(単位:百万円)



Aplix



アプリックスIPホールディングス株式会社

<http://www.aplix-ip.com/>

株式会社アプリックス

<http://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。